

鬼脇地区 種コンブ湿重量  
(残置量) 資料

# 利尻富士町のリシリコンブを活用した ブルーカーボン事業

---

～日本のだし文化を守る取組～



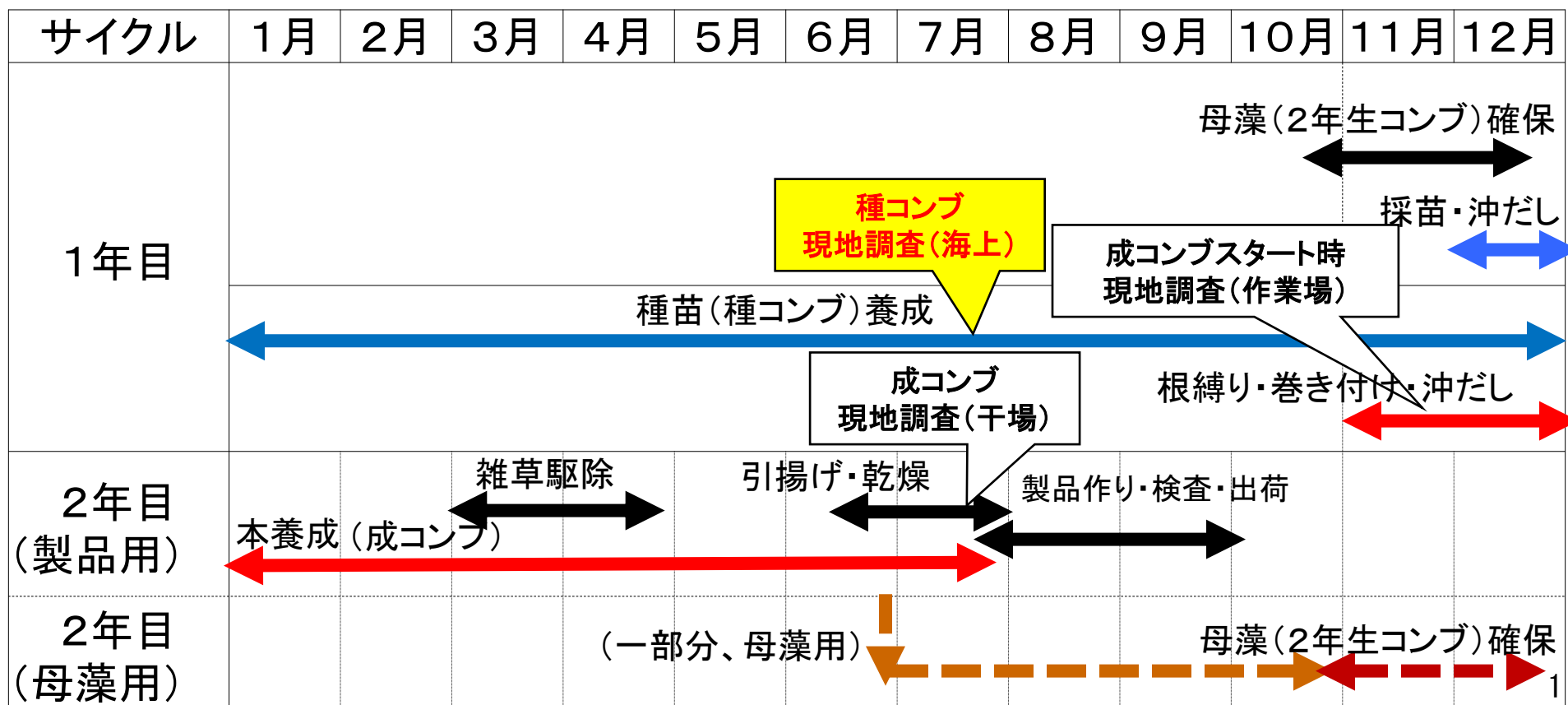
利尻富士町



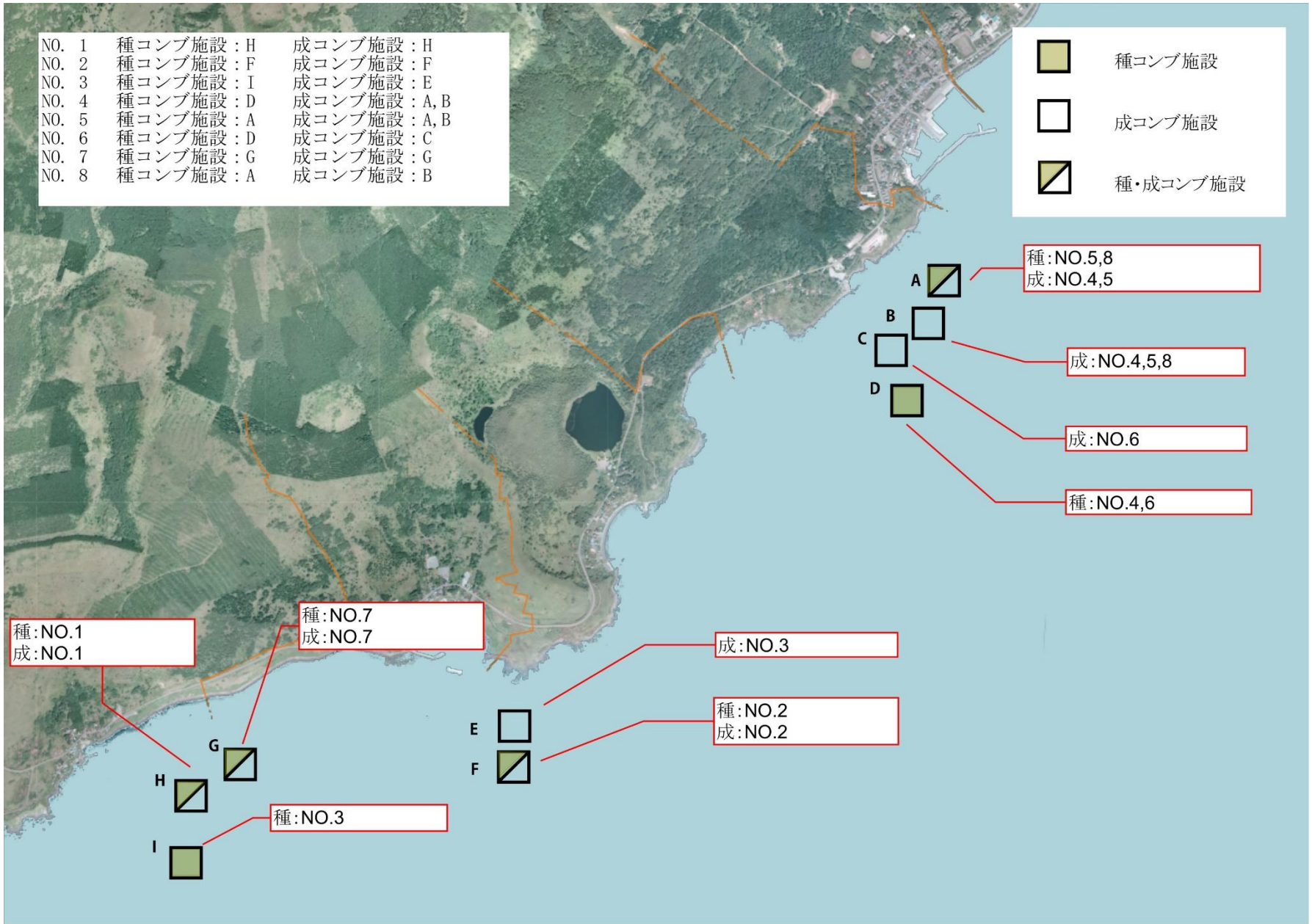
利尻漁業協同組合

# リシリコンブの養殖工程

- 1) 1年目は母藻を確保し、付着水槽の遊走子を確認後、養殖ロープを水槽に静置し、その後沖だし、種コンブの養成を開始。
- 2) その後、冬期に種コンブを陸揚げ・選定の上、成コンブ養成用のロープに根縛り・巻き付けを行う。
- 3) 2年目のロープ等に付着する雑海藻を除去し、成コンブの実入りを管理し、6月に引き揚げ乾燥を開始し、9月頃出荷する。



# 養殖コンブ施設一覧（鬼脇地区）



調査内容	リシリコンブ養殖	
	種コンブ (1年目)	成コンブ (2年目)
①養殖ロープ延長の確認	宗谷地区水産技術普及指導所で行った聞き取り調査から整理	成コンブの養殖ロープ延長を証明する書類として、利尻漁協の原本謄写による「特定養殖共済契約通知書」から整理
②単位当たり湿重量、本数、葉長、葉幅の調査	令和6年8月8日(木) 13:00～14:00 調査担当者: 利尻富士市 産業振興課水産港政係長 入井飛鳥、水産港政係主事 佐藤駿介 宗谷地区水産技術普及指導書 利尻支所長 三好大介、昆布養殖部会 上田隆司	令和6年7月2日(火)2軒分 3:30～4:30 調査担当者: 利尻富士市 産業振興課長 関光徳、水産港政係長 入井飛鳥、宗谷地区水産技術普及指導書 利尻支所長 三好大介、主査 白井睦実 利尻漁協 鬼脇昆布養殖部会 上田隆司、上田裕

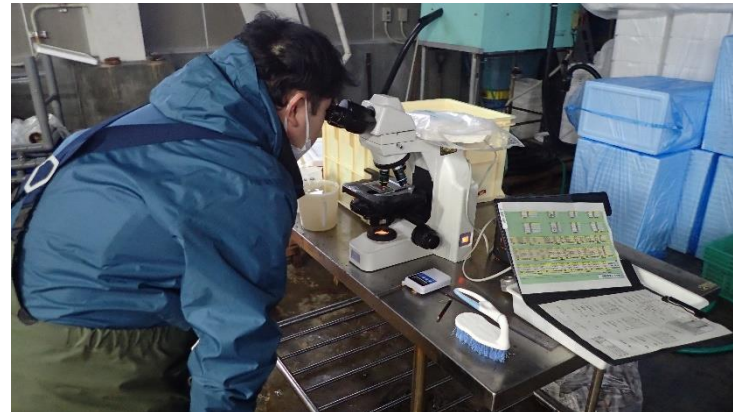
調査内容	リシリコンブ養殖	
	種コンブ (1年目)	成コンブ (2年目)
③成コンブスタート時の単位当たり湿重量の調査	—	<p>令和5年11月14日(水)1軒分 8:30～9:00 調査担当者: 利尻富士市 水産港政係長 入井飛鳥 利尻漁協 鴛泊昆布養殖部会 南信行</p> <p>令和5年11月15日(月)1軒分 8:00～8:30 調査担当者: 利尻富士市 水産港政係長 入井飛鳥 利尻漁協 鴛泊昆布養殖部会 寺田利和</p> <p>令和5年11月22日(木)3軒分 8:30～10:00 調査担当者: 利尻富士市 水産港政係長 入井飛鳥、水産港政主事 近藤稜起 松谷歩夢、水産指導所 利尻支所長 河合渉、主査 白井睦実 利尻漁協 鴛泊昆布養殖部会 神成誠 一橋孝二 秋元雄二</p>

※沖で成長した種昆布を11月に陸揚げ・選別し、成コンブ養殖用のロープに根しばりし、巻き付けする。この状態が成コンブの養殖のスタート時である。そのため、スタート時の湿重量を②で調査した湿重量から差し引く必要があるため調査を実施。成昆布スタート時の湿重量調査は昨年行った鴛泊地区の調査結果を準用。



### ③養殖ロープ延長の確認（種コンブ）

- 1) 種コンブは、養殖ロープに遊走子を着底させることから始まる。  
（通称どぶ漬け作業）宗谷地区水産技術普及指導所および町立会いのもとに行っている。
- 2) 8軒の養殖昆布漁業者と鬼脇養殖昆布部会は、毎年12月、2回に分け種コンブの養殖ロープをつくり、沖だしにより養殖漁場で種コンブを養殖



### ③養殖ロープ延長の確認（種コンブ）

3) どぶ漬け作業の際に、宗谷地区水産技術普及指導所が漁業者に聞き取りを行い水槽へ投入したロープ延長を確認。その集計を、種コンブ養殖ロープの長さとする。

(単位:m)

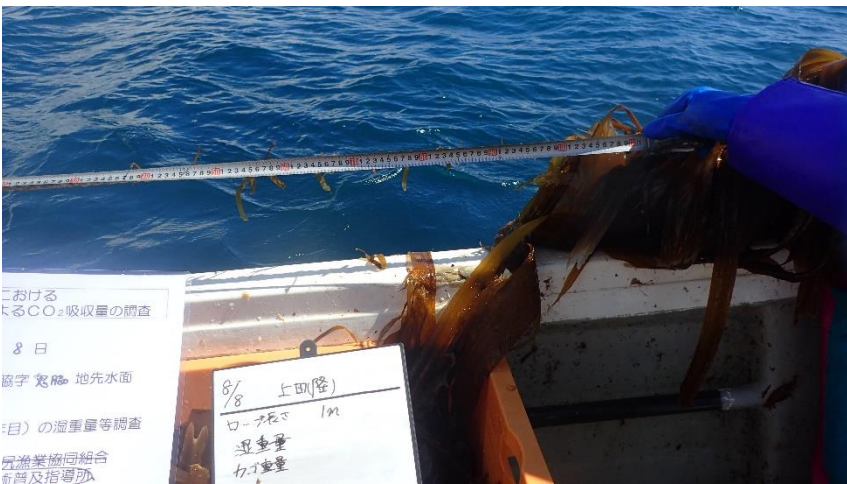
2023（令和5年）			2022（令和4年）			2021（令和3年）			2020（令和2年）			2019（令和元年）		
作業回数	1回目	2回目	作業回数	1回目	2回目	作業回数	1回目	2回目	作業回数	1回目	2回目	作業回数	1回目	2回目
漁業者	12月16日	12月21日	日 時	12月17日	12月21日	日 時	12月17日	12月22日	日 時	12月11日	12月19日	日 時	12月16日	12月20日
NO. 1	300	600	NO. 1	300	300	NO. 1	400	400	NO. 1	0	600	NO. 1	600	200
NO. 2	600	600	NO. 2	0	600	NO. 2	0	900	NO. 2	500	400	NO. 2	700	500
NO. 3	600	1,100	NO. 3	700	700	NO. 3	700	600	NO. 3	800	600	NO. 3	800	700
NO. 4	600	500	NO. 4	400	500	NO. 4	800	500	NO. 4	500	800	NO. 4	1,000	600
NO. 5	200	400	NO. 5	600	400	NO. 5	400	400	NO. 5	600	300	NO. 5	600	600
NO. 6	0	1,400	NO. 6	0	1,400	NO. 6	0	1,400	NO. 6	0	1,300	NO. 6	600	800
NO. 7	300	0	NO. 7	300	0	NO. 7	0	200	NO. 7	0	0	NO. 7	0	0
NO. 8	200	0	NO. 8	200	100	NO. 8	0	0	NO. 8	0	0	NO. 8	0	0
小計	2,800	4,600	小計	2,500	4,000	小計	2,300	4,400	小計	2,400	4,000	小計	4,300	3,400
合計	7,400		合計	6,500		合計	6,700		合計	6,400		合計	7,700	

※宗谷地区水産技術普及指導所の調査結果より



④単位当たり湿重量、本数、葉長、葉幅の調査（種コンブ）

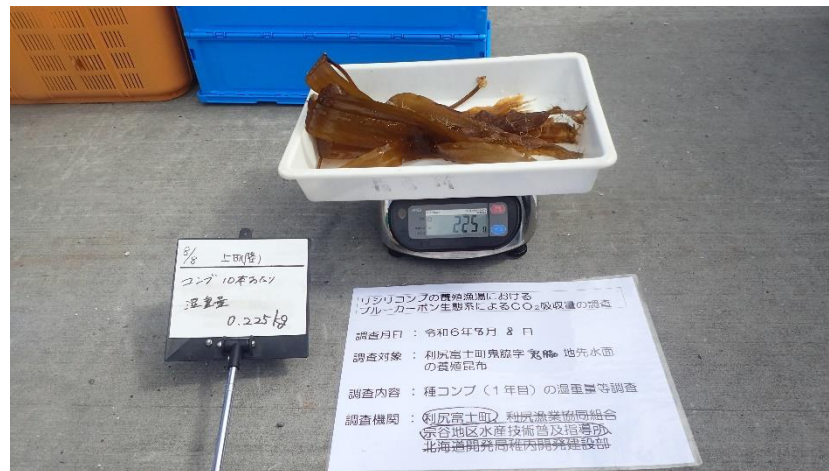
1) リシリコンブ養殖漁場の種コンブ（1年目）養殖場所へ調査船で移動し、海中の養殖ロープを海中から船上に吊り上げ、1m分を刈り取り。





#### ④単位当たり湿重量、本数、葉長、葉幅の調査（種コンブ）

- 2) 種コンブ 1 mの湿重量を計測 (9,000g/m)
- 3) 種コンブ10本を抽出し、葉長 (平均60.70cm/枚)・葉幅 (平均4.56cm/枚)と湿重量 (225g/10本) を計測
- 4) 養殖ロープ 1 m当たり400枚の育成を推定



# 単位ロープあたりの残置量（湿重量）

調査日	令和6年8月8日		No	葉長 (cm)	葉幅 (cm)
漁業者名	上田 隆司		1	40	2.5
調査者名	入井、佐藤、三好		2	60	3.7
			3	57	5.5
ロープ延長	1	m	4	63	4.5
湿重量 (g/m)	9000.0	g/m	5	82	5.5
湿重量 (t/m)	0.00900	t/m	6	46	3.8
1 mあたり本数	400	本/m	7	89	6.7
			8	44	2.7
10本あたり湿重量	225g/10本		9	71	5.7
1本あたり湿重量	22.5g/本		10	55	5.0
			平均	60.70	4.56

1) 上記結果より

2023年 ロープ延長 7,400mの湿重量(残置量)は 66.60 t

2022年 ロープ延長 6,500mの湿重量(残置量)は 58.50 t

2021年 ロープ延長 6,700mの湿重量(残置量)は 60.30 t

2020年 ロープ延長 6,400mの湿重量(残置量)は 57.60 t

2019年 ロープ延長 7,700mの湿重量(残置量)は 69.30 t